

9月は防災月間です。近年、ゲリラ豪雨や大型の台風など、大規模な風水害が増加しています。

「平成30年7月豪雨」では、西日本を中心とした記録的大雨により土砂崩れや河川の氾濫が発生するなど、甚大な被害が発生しました。町でも平成29年10月に台風21号による大雨のため、一部の地区に避難勧告を発令しました。最近では、「観測史上初」や「数十年ぶり」などの言葉を頻りに耳にし、過去の経験から対応することが困難になっていきます。

これから本格的な台風シーズンを迎えます。今月号では、町が発信する避難情報や気象庁などが発表する気象情報、そして、災害を未然に防ぎ、被害を抑えるために取るべき行動について紹介しましょう。

気象庁や役場などからの情報を収集し、正しい行動を取れるよう普段から心掛けをしましょう。

気象情報を知る、そして行動する

～情報収集と正しい行動があなたと家族を守ります～

気象情報を知る

町が発信する情報

防災行政無線
屋外拡声スピーカーから緊急情報などをお知らせします。

ため、新規登録は中止しております。ご了承ください。

町ホームページ

災害に関する情報を随時更新します。

嵐山町公式twitter

災害時には災害、防災情報などを発信します。

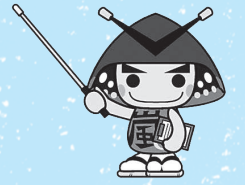
嵐山町公式アカウント
tanzan_town

広報車

災害等緊急時は、広報車で町内を巡回放送します。

緊急速報メール

避難勧告などの緊急度の高い情報を町内エリアにある携帯電話（ドコモ・au・ソフトバンクの対応機種のみ）に一斉送信します。



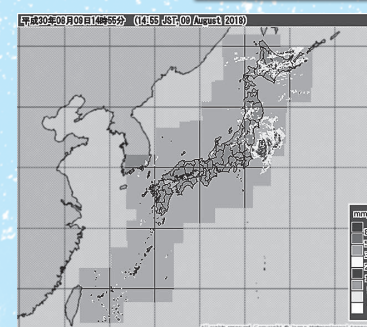
気象庁が発信する情報

（気象庁ホームページ）



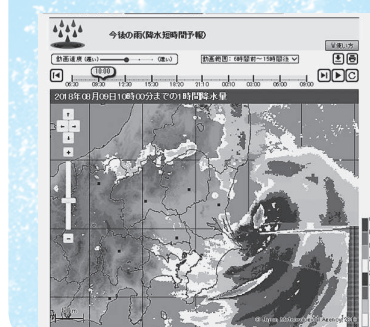
レーダー 降水ナウキャスト

雨の降る場所や強さを5分毎に、最新の状況から6分先まで予報します。



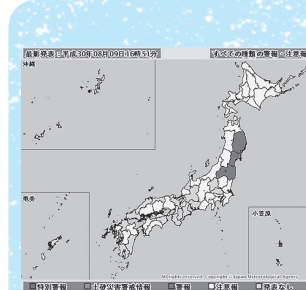
今後の雨(降水短時間予報)

現在から15時間後までの各1時間降水量を予報します。



気象警報・注意報

気象庁が発信する各種の気象警報・注意報の発表状況が確認できます。



気象情報の確認方法

気象庁は災害の防止・軽減のため、特別警報・警報・注意報など防災気象情報を発表しています。これらの防災気象情報がどのようなタイミングで発表されるのかを理解し、早めの対応を心掛けましょう。

そして行動する



事前に避難をする準備をしましょう

大規模災害が発生した場合、過去の事例では支援物資はすぐには届かないことが多く報告されています。皆さんも少なくとも3日分の食料・水などを備蓄しておきましょう。

◆備える物品チェックリスト

- | | |
|--|--|
| ☐ 非常食
レトルト・缶詰等
最低3日分 | ☐ 筆記用具
☐ タオル
☐ レインコート |
| ☐ 飲料水（1人1日3リットルが目安）
最低 3日分 | ☐ 救急袋
☐ 医療・衛生用品 |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 予備電池 |
| ☐ 軍手 | ☐ はさみ・カッター |
| ☐ 着替え | ☐ ガムテープ |
| | ☐ ロープ |

◆消費しながら備えるローリングストック法

「食べずに置いておく」のではなく、決まった日に「食べながら備蓄する」方法です。災害時に消費期限を過ぎた食料を食べることなく安心して行えます。

- ①備える
少なくとも3日分の食糧を用意しましょう。
- ②日常で使う
定期的（1か月に1、2度）に食べましょう。
- ③買い足す
食べた分だけ購入して備えましょう。

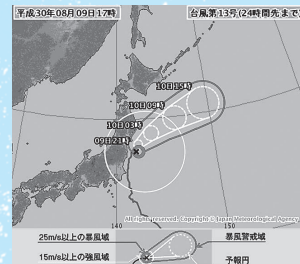
気象情報を知る、そして行動する

土砂災害警戒判定メッシュ情報
大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを地図上で5km四方の領域ごとに5



大雨警報(浸水害)の危険度分布
短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を示しており、大雨等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。

大雨警報(浸水害)の危険度分布



台風情報(予想進路、接近見込み時刻)
台風の状況と台風の進路予測などが確認できます。

台風情報(予想進路、接近見込み時刻)

川の防災情報
全国の水位観測所の現在の水位を観測所付近の川の断面図とあわせてご覧いただけます。水位のレベルに応じて河川を色分けした地図なども見ることができます。

川の防災情報

国土交通省ホームページ

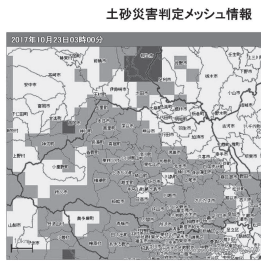
映像情報提供システム
河川の監視カメラ映像を確認することができます。

映像情報提供システム

気象庁以外にも
河川水位や雨量などの県内の河川情報を確認できます。

気象庁以外にも

気象庁以外にも



段階に色分けして示す情報です。土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

警報等の種類

発表の時点と条件

大雨特別警報	大雨警報	大雨注意報
広い範囲で数十年に一度の大雨となったとき 重大な災害が起こる恐れが著しく大きい場合に発表	大雨の数時間～2時間前 重大な災害が起こる恐れがある場合に発表	大雨の半日～数時間前 災害が起こる恐れがある場合に発表

避難勧告時の行動を覚えておきましょう

避難情報には「避難指示(緊急)」・「避難勧告」・「避難準備・高齢者等避難開始」の3つの種類があります。緊急性が一番高いのは「避難指示(緊急)」です。この場合は災害がいつ発生してもおかしくない状況で、直ちに避難する必要があります。

避難情報の種類と取るべき行動

避難指示(緊急)	緊急に避難が必要。既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況。外出することによって命の危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難。
避難勧告	速やかに避難所へ避難してください。外出することによって命の危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難。
避難準備・高齢者等避難開始	子どもや高齢者など避難に時間を要する家庭は避難開始。その他の方は避難の準備を整えとともに、最新の情報の把握に努める。